



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

## おまかせください！！

2017. 第 105 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事の上神谷（かみかべや）です。

8月も早いものであっという間に終わり、もう9月・・・もうあの暑い気温になることはないとは思いますが・・・みなさまにはどんな夏でしたか？

### ■なかなか遊びに行く事がなく・・・

自営という仕事柄、仕事とプライベートのメリハリが無くなりがちなんです。

平日はとても帰りが遅いけれど、土日のお休みはしっかりとれるから家族と出かけたり・・・というご家庭が多いとは思いますが、ぼくは全然帰りは遅くないですし、むしろ家で仕事をしたりする

時もある。

だから、始終家族と顔を合わせているようでもありますが、きちんと休みを取らない。なので、お休みをとってどこかに出かける・・・ということがほとんどありません。土日祝日もそうですね。

上の娘は中学で何かと忙しい日々なのでまだいいのですが、下の娘は幼稚園なので、もう少し遊んであげてもよさそうなのに・・・と思います。

そんな父親ですが、普段してあげてない分、夏休みくらいは・・・ということで、この時期だけはお休みをいただいて出かけています。

今回は那須の方に1泊2日で行ってきました。ぼくはやはり、こういう形ででかけると一番の楽しみは食事。

ホテルのバイキングなど、食べる量は少なくしないといけないながらも楽しみはそこですね。量も抑えないといけないですから、ついついあれもこれもと取

ってきたくなる気持ちを抑えつつ・・・  
それでも満足できました！

こちらの写真は遊びに行ったとある施設で、アイスを食べている様子です。



下の子のアイスが溶け落ちそうで・・・そんなに早く食べられないのにコーンに乗せてもらってしまったので・・・カップにしてあげればよかったです。

喜んでくれていたようで・・・こうやって少しでも子供達に思い出になってくれたらと思います。



お世話になっております。長坂利昭です。今号もお読みいただき、ありがとうございます。

## ■『府中』なのに『府中』では・・・

このニュースレターでも何度か書い

ておりますが、府中市には、いくつかのプロスポーツチームがあります。

その中の一つ。フットサルFリーグ「府中アスレティックFC」の話題を、先月インターネット上で見掛けました。

府中の、とある市議会議員さんが発信しているSNSなのですが、「府中アスレティックFCがこれまでホーム試合のメイン会場として使ってきた府中市立総合体育館は、今後公式戦での使用が出来なくなる」との内容でした。

理由は二つあり、一つ目は「試合を行なうフロアが小さい」。実際、リーグの基準となるコートサイズに数m満たない状態で試合を行なってきたとの事。

二つ目は「観客席数が少ない」。リーグの規定2000席に対して1500席と大幅に足りていない点。

この二つの理由に関しては、2009年、チームがFリーグに加盟する時点で指摘をされていたそうなのですが、「今後の施設の改修を条件に・・・」という特例措置で、暫定的にホーム会場として使用許可が下りたという経緯があったそうです。

そして、ついに今シーズン開幕前。総

合体育館の使用許可は今年8月まで、9月以降は使用不可との裁定が・・・。

私も今季の試合日程発表後、一覧を見て「今年は府中での試合がとても少ないな？」と思ったのですが、こんな大問題が起きた結果だったのですね。

チーム関係者や市議の方々も、この数年、体育館の改修や新設などの議論はしてきたそうですが、進展には至らず、この様な現状を向かえたそうです。

「総合体育館改修の難しさ・・・現在のフロアを拡張するには敷地不足。体育館自体を立て直す場合は、土壌改良も行わなければならないので、多額の費用が掛かるそうです。また、現体育館内の他施設が、まだまだ使える状況にあるなかで、より規模の大きい施設を別の場所に新設するのはいかなるものか・・・というジレンマも。」

今後暫くは、市外の使用可能な施設を活用していくよう、関係各所協議をしているそうですが、やはり「府中」と名の付くチームが地元の「府中」で試合が行えないのは・・・。

「チーム」「リーグ」「行政」「市民」それぞれに様々な考えがあり、簡単に解決出来ない問題だと思いますが、結論が

良い方向に向かってくれることを祈るばかりです。

## ■重宝される「サイディング」

さて、ここからは塗装のお話です。

住宅を建築する際には、色々な材料を使用します。外壁だけをとっても様々で、その一つとして「サイディング」があります。

「サイディング」とは、セメントや繊維系材質、あるいは金属系材質を使用し、パネル状にした外壁材で、近年の新築戸建住宅の半数以上は、この「サイディング」が用いられていると言われています。

サイディングが重宝される理由の一つに、意匠性が高い事が挙げられます。

意匠。つまりデザイン。工場で生産をしてくる物なので、色とりどりで多彩な柄にする事が可能です。最近では「色あせしにくい」「汚れにくい」といった付加価値のある商品も多く存在します。

ですが・・・その付加価値も、工場で施されたサイディング表面の塗装・塗料の効果が十分に発揮されての事。

外壁という過酷な環境下で長年使用

していれば、その塗装は徐々に劣化をし、遅かれ早かれ、後々は表面を再塗装しなければならない日が、必ずやってきます。

### ■塗り替え時、気を付ける事・・・

一般的な塗り替え工事は既存の色、柄は一旦リセットし、新たに一色で塗りつぶす作業となります。文字通り、新しい色を塗って、色を替えるのです。

そうではなく、愛着のあるサイディングの色、柄を引き続き維持させたい・・・という場合には、「クリアー塗料」を使用する。これに限ります。クリアー、つまり透明の塗料です。

しかし、透明であるからこそ注意しなければいけない点もありまして・・・。

まずは、色あせの問題。立地条件により、日の当たる面、当たらない面で、経年劣化の末、色の違いが生じてしまう事があります。「北側は新築当時の色合いが残っているのに、南側は色があせている」というように・・・。

クリアーの塗料には色を元通りにする作用はありませんから、塗り替え時の色の違いがそのまま残ってしまいます。

もう一つは、目地の問題。サイディング外壁には、目地が存在しますが、大概

一番に傷み出すのが、この目地の部分。

サイディングの板と板との継ぎ目の部分ですが、施工直後は弾力があり、伸び縮みするのですが、経年劣化で硬くなり、写真の様にひび割れてきます。



状態により、直してから塗装しますが、やはり透明であるがゆえ、部分的に直したのでは、直さなかった部分との差がはっきりと分かってしまい、仕上りの見栄えが悪くなります。もちろん全ての目地を直せば気にする事のない話しですが、その分、工事費用に反映してしまいます。

このような問題が起きないようにするためには、ただ一つ。劣化が著しく進行する前に、早め早めに塗装工事をし、対処をしていく事です。今後、新築・建て替えのご計画がある方も、先々を見据えた上で外壁材をご検討くださいませ。

~~~~~  
発行者 地元の塗装店 『三商事』  
上神谷裕治（かみかべや ゆうじ）  
記事 上神谷裕治、長坂利昭  
住所 府中市紅葉丘1-1-15  
TEL、FAX 042-365-1402  
または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

ブログ <http://sanshouzi.net/>

<http://sansyouzi.seesaa.net/>

